

平成19年度 フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

市町村名	茂原市	郡市歯科医師会名	茂原市長生郡歯科医師会
------	-----	----------	-------------

実施施設等				
基盤整備	保育所	幼稚園	小学校	中学校
1	0	0	0	0

1. フッ化物洗口に関する前年度までの経緯

茂原市では平成18年度フッ化物洗口普及モデル事業（8020運動推進特別事業）を受け、萩原小学校（児童数635名）をモデル校として、平成18年12月より実施した。また、二宮小学校（児童数183名）においては平成17・18年度文部科学省委託事業「生活習慣病予防等を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業」を受け歯と口の健康づくりに力を入れてきたことで、教職員・保護者も歯に関心が高く、次年度も継続して取り込むことになり、平成19年度よりフッ化物洗口の実施となった。

2. 推進体制づくりの経緯

実施事項	具体的な内容	評価
管内養護部会 研修会	8月1日 平成19年度県歯科医師会でのモデル事業としてフッ化物洗口を実施することから、新規希望校を募るため、養護教諭のフッ化物洗口に対する理解が得られるよう研修会を実施した。	具体的な安全性について、専門家の意見を聞きたいと要望があった。
校長会での説明	8月21日 校長会での理解と募集のための説明会を実施。	持ち帰り検討する。

3. 施設における取り組み内容

施設① 専門家による研修会の実施		
実施事項	具体的な内容	評価
研修会	平成20年2月28日(木) 東京歯科大学衛生学講座教授の眞木先生を講師に「フッ化物洗口に関する安全性について」研修会を実施。 日教組の養護部会のフッ化物洗口の反対署名文に対して具体的に説明をいただき安全性に対する理解を説いた。 対象は管内教育委員会および校長・養護教諭・歯科医師会会員・市町村担当者等 参加：歯科医師20名・歯科衛生士8名 教育関係16名・行政5名 合計49名	一方的な反対論のみでなく、推進派の説明を受け、安全性についての理解が得られた。

4. 問題となったこと・今後の課題とその対応について

安全性について養護教員は理解できたようではあるが、実施するには学校のトップの理解も不可欠である。今回の出席では教育委員会のトップクラスの出席がなかったこともあり、今後は教育委員会の理解を得られるよう検討したい。

5. 20年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無

現在実施の2校については、教育委員会からの予算で継続する。

6. 活用した参考資料や文献

名 称	活用場面	費用や入手先等
フッ化物洗口マニュアル・簡単ナビ	2月28日の研修会で配布	千葉県歯科医師会

7. 記録写真等

